

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 ChainLink	 Uniswap	 Aave
中堅	 Kaia	 Maple Finance	 Axelar
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 6/13

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン 価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#13	 ChainLink	Oracle	¥1,360,564,193,173	¥2,070.55	—	▲4.42%
#28	 Uniswap	DEX	¥719,723,054,380	¥1,144.70	2.78倍 (HYPE比)	▲26.97%
#30	 Aave	Lending	¥644,816,674,607	¥42,537.78	—	▲13.09%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、3.62%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Chainlink : LINK

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：香港CBDC実験に採用、金融機関との連携進展が価格上昇を後押し

Chainlinkは今週、特に香港金融庁が進めるデジタル香港ドル（e-HKD）の実験に採用されたことが話題を呼んだ。この取り組みでは、Chainlinkの技術が、香港が発行する中央銀行デジタル通貨と豪州銀行が発行するデジタル豪ドルの即時交換を実現し、Visaや大手資産運用会社のフィデリティなども参加しており、金融機関が本格的にブロックチェーン技術を使った国際送金を検討するモデルケースとなっている。こうした実際の金融機関や政府機関との協業が進むことで、LINKの価値上昇の根拠となりやすい。

AIによる相場分析：LINK

現在12.94ドル近辺と軟調。13.50ドルを取り返せば14.00ドルや15.00ドルへ戻る望みがある一方、12.50ドルを明確に割ると11.80ドル付近まで急落しやすく、流れは下向きながら行き過ぎた下げによる小幅な反発も想定される局面です。

Uniswap : UNI

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：新ウォレットと米SECのDeFi規制緩和期待で価格急騰

Uniswapは今週、ユーザーがオンチェーン取引を簡単に行える新しいウォレット「Uniswap Smart Wallet」の発表を予告した。特に取引に必要な操作の自動化や手数料（ガス代）管理の簡略化が好感され、ユーザー数が急増。また、米SECの新長官が分散型金融（DeFi）に対する規制緩和の可能性に言及したことから、市場全体に「DeFiサマー2.0」の期待が広がり、UNITokenは短期間で大幅な値上がりを見せた。今後も新機能「Uniswap v4」や収益をトークン保有者に還元する仕組みの導入が期待されているが、SEC規制の実際の進展状況次第では、一時的な価格調整の可能性も考えられる。直近の価格上昇を踏まえ、エントリーのタイミングについては慎重な検討が必要です。

AIによる相場分析：UNI

現在は6.80ドル付近で粘るものの7.20ドルを超えられず戻り売りが目立ちます。6.50ドルを下回れば6.00ドルまで下げが加速しやすい一方、下げ過ぎによる短期的な反発余地も残ります。8.00ドル台を回復できれば流れが好転し、9.00ドル突破も視野に入ります。

Aave : AAVE

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：SEC長官の発言やソニー系L2採用で利用拡大が加速

Aaveは、米SEC長官がDeFi規制緩和を示唆したことで市場心理が改善し、価格が急騰した。さらに、ソニーが支援するEthereumのレイヤー2（L2）ブロックチェーン「Soneium」にAaveが参加したことで、日本を含むアジア市場への普及に期待が高まった。また、3月に発表されたAave独自のステーブルコイン「GHO」を元にした新たな高利回りの貯蓄型トークン（sGHO）の導入計画も進行中で、ユーザーの増加と収益拡大につながる可能性がある。ただし、プラットフォーム上のリスク管理や、金融機関との連携進展が遅れる懸念もあり、引き続き慎重な見方も必要。直近の価格上昇を踏まえ、エントリーのタイミングについては慎重な検討が必要です。

AIによる相場分析：AAVE

急落後に260ドル付近で買いが入りやすく、短期の売られ過ぎも一服すれば300ドル台への戻りが視野。一方、260ドルを割ると240ドルまで下げが広がりやすい。長い目では上向き基調は崩れておらず、押し目は中期の拾い場となりそうです。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 6/13

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#71	 Kaia	Layer1	¥148,112,527,045	¥24.51	7.75倍 (TON比)	▲55.9%
#108	 Maple Finance	Lending	¥81,179,493,572	¥72.98	7.94倍 (AAVE比)	▲25.76%
#119	 Axelar	Cross chain	¥66,840,077,980	¥68.01	20.36倍 (LINK比)	▲47.89%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、3.62%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Kaia：KAIA

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Kaiaが韓国ウォン建てステーブル発行へ急騰、規制整備が追い風

韓国の新政権下で、Kaiaは韓国ウォン建てステーブルコイン発行を公約し、このニュースにより今週35%超の急騰を記録しました。デジタル資産法「Digital Asset Basic Act」により規制が明確化され、ウォン建て発行の実現性が高まる見通しで、国内法整備と立ち上がるステーブル環境を先取りする形で注目を集めています。短期的に規制整備進展と発行見通しが価格を支え、中長期的には国内インフラ整備の鍵となるトークンとして位置付けられつつあります。

注目ポイント：Solana進出で注目、機関向け貸付プラットフォームの新展開

AIによる相場分析：SYRUP

Axelar : AXL

注目ポイント：Cobaltデフレ設計とRWA展開による中長期成長シナリオへ

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 6/13

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>